

◀ ヤング頑張ってます ▶

機関士になって4年目

国立大学法人 東京海洋大学 海鷹丸 菊地 和 満

皆様はじめまして、東京海洋大学 海鷹丸 三等機関士、菊地和満と申します。

船舶機関士になって4年目になり、まだまだ未熟なエンジニアですが、“ヤング頑張ってます”の執筆依頼をいただき、私なりに今までの仕事を振り返り、いろいろと書かせていただきたいと思います。

まずは、自己紹介をさせていただきます。私は京都府出身で、海とはあまり関わりのない土地で少年時代を過ごしていました。子供のころは、プラモデルやミニ四駆にはまり、私の機械好きは少年時代の遊びが由来したものと思います。高校を卒業したあとは、フィルムラミネート加工をしている会社に就職し、仕事をしているなかで、もう少し専門的に機械の勉強をしたいと考え、22歳のときに大学に進学しました。大学では「4力（よんりき）」と呼ばれる機械工学の理論的な部分を中心に勉強しましたが、機械の研究、開発、製造よりも運用と維持の技術者になりたかったので、マリンエンジニアになる道はわたしにとって自然な流れでした。

“機関士の仕事と担当機械について”

就職して初めて乗船した親船は船齢が30年に達していた「おばあちゃん船」で、冷却システムもセントラルクーリングではなく、海水冷却でした。老朽化した船でしたので、配管システムの漏れや、始動器盤内の電気的な不具合、担当機械である冷凍機やポンプ関係のトラブルが多かった船です。特に漁船でしたので、漁船用冷凍機があり冷媒洩れ箇所がなか

なか特定できず、夢のなかまで冷凍機の配管（受液器出口～膨張弁手前）がでてくるほど担当機械のことを考えていました。

船舶の機関士の仕事は、ただ単に機械の運転をしたり、メンテナンスするだけではないと思います。私もよく作業中、不注意が原因でミスをするのですが、ちょっとしたミスが怪我や大事故につながり、危ない場面に何度かあったので、少しでも人為的なエラーを防ぎたいです。

また、船内は特殊で、閉鎖的ですので、ストレスが溜まるのですが、ストレスを減らす方法を考えています。なるべく飲酒でストレス解消するのではなく、運動などしてストレスを減らし、船に乗り始めてから増えた飲酒の量をほどほどに減らしたいです。

学生時代に機関室内でのコミュニケーション方法などの「ERM」を習いましたが、一緒に作業している機関部員、上司のエンジニアとのコミュニケーションがいかに大切か、機関士になってから思い知らされています。ヒューマンエラー、ストレス、コミュニケーションなど機関士に求められる能力を少しでも上げていきたいです。

“調査・練習船について”

船乗りになって4年目で、今年度から海鷹丸に転船となりました。久しぶりの外航で、バンコク（タイ）、ホバード、フリーマントル（オーストラリア）、ヌメア（ニューカレドニア）に寄港し、南極海まで学生と調査員を乗せ、海洋調査に行く予定です。

乗船してくる学生は水産系学部の学生で、三級海技士（航海）の免許取得を目的としております。機関ワッチにきた学生には、機関士が航海士のことを勉強したり、航海士が機関士のことを勉強するのが、船舶の運航のことを考えたら重要なんだよと、生意気に伝えております。

水産とか商船、デッキとかエンジン、目に見えない壁を感じるときもありますが、それは長い間の伝統や習慣、人の気持ちも混じった壁のような気がします。少なくとも機関士に商船とか水産の違いはないと思います。

“最後に”

8月に一級海技士（機関）の口述試験を受けるために勉強をしているところです。少しでも長い間、機関士として仕事を続けたいですが、南極航海と資格を取得したら、陸上での仕事も考えております。狭い世界なので、

今後お会いできる機会がありましたら、よろしく申し上げます。



メカニカルシール交換作業中の筆者

- 各種プラント機器類の据付け・整備工事・電気工事及び技術コンサルタント
- 冷凍装置及び関連機器の製造・取付け工事・整備工事
- 製造販売 海洋生物付着防止装置・鉄付発生装置・船用燃料油フィルタ「セレクト」
- 船舶修繕・整備工事・電気工事及び関連機装品の製作販売
- 新造船・修繕船工事の技術コンサルタント

BOLTECH 株式会社ボルテック

代表取締役社長 大野 直幸

本社・横浜電気事業部：横浜市西区岡野 2-8-13

TEL 045-290-6085 FAX 045-290-3317

神戸電気事業部：神戸市兵庫区西出町 1-2-25

TEL 078-651-6031 FAX 078-671-7821

神戸機械事業部：神戸市兵庫区西出町 1-2-1

TEL 078-651-2727 FAX 078-681-1386

横浜機械事業部：横浜市神奈川区守屋町 1-2-2

TEL 045-461-6971 FAX 045-453-2868

冷熱事業部：横浜市神奈川区守屋町 1-2-2

TEL 045-900-7733 FAX 045-440-5098